



# 食物栄養学科の先生にインタビュー！

学生ルポライターのあやなです♪ 今回は食物栄養学科1年アドバイザーの本間維先生にインタビューしました！  
本間先生は私の配属研究室の先生で、1年生の探究の基礎、選択科目の図書館司書などをご担当されています。

## Q1.ご出身はどこですか？

A.札幌ですね。高校の頃まで札幌にいて、大学進学で茨城に移って一人暮らしを始めました。大学出てからここで働き始めたって感じです。

## Q2.青森で働くことを選んだきっかけは何ですか？

A.大学の同期で、私の前に働いていた方が辞めるということになって、人づてに声がかかって青森中央短期大学に来ました。人前で話すのは苦手なんですけど、授業なら話さなきゃいけないことが決まっているのでできるかなと思いました。

## Q3.ご趣味はなんでしょうか？

A.コロコロ変わります。前は写真撮りに電車で長崎に行ったり、研究室にプラモデル飾ってた時もありました。ずっと変わっていないのはパソコンいじりかな。大学の時は、1か月に1回くらいパソコンを全部初期化して、どれくらいの手数で開発段階に持っていくかっていうのをやってましたね。

## Q4.好きな食べ物と嫌いな食べ物は？

A.チーズが苦手です。特段好きな食べ物はなく、出されたものならなんでも食べるって感じです。

## Q5.学生時代はどんな学生でしたか？

A.勉強についていくのがすごく大変でした。ゲームが好きなのでコンピュータ系の大学を目指していましたが、難しい理系科目をやらなければいけなくて。一人暮らしも初めてだったので調子を崩してしまい、大学卒業するのに6年かかりました。卒研が始まってからは教授に会って、研究にはまって、ずっと研究室に入り浸っていました。

## Q6.大学教員の仕事内容ややりがいを教えてください。

A.授業と研究が主体です。どこでなんの仕事をするかは自分で考えて仕事します。後は課題の添削と学生対応に時間を使うことが多いです。学生対応については、頑張って対応したとしても、支援が上手く実らなくて報われないこともありますが、なんとか卒業にこぎつけた時が一番嬉しいですね。私自身もあまり順調な大学生活ではなかったので、大学生活で困っている人が困らなくなればいいし、困りながらもひとまず折り合いをつけて卒業出来たら嬉しいですね。

## Q7.学生にお勧めしたい本を教えてください。

A.森博嗣さんの『喜嶋先生の静かな世界』です。主人公が入学後大学に失望していたところでゼミに入り、研究に没頭していく作者の自伝的小説です。私は読み終わった本は捨てるんですが、この主人公が自分に似ていて、この本はずっと持っていますね。

## Q8.図書館司書について教えてください。

A.図書館の使い方とか、本の探し方とか、図書館を使うときに活かせることについて学びます。図書館司書は接客業なので、利用者がどんなことに困っているのか、一緒に探し出します。だから、話をするのが好きな人と人の手伝いをしたい人に向いていると思います。また、社会に出てからも仕事や私生活で調べものをする機会はありますので、司書の授業で学ぶ調査スキルは多くの場面で役立つものです。



お忙しいところインタビューを引き受けてくださいってありがとうございました。先生の説明はとても分かりやすく、特にパソコン関係で分からないうがあれば、つい「本間先生に聞けば大丈夫！」と思って安心してしまいます。これからも宜しくお願い致します♪



ありがとうございました